



5月園だより

令和8年5月1日
目黒区立祐天寺保育園園長

～時間を忘れて立ち止まってみよう～

新年度が始まり一か月が経ちました。登園した1歳児が自分の場所へ靴を入れる姿からは、新しい場所へ向かおうとする頼もしさが伝わってきます。

4月の終わりに4、5歳児クラスは春の遠足へ行きました。当日は風が心地よく穏やかな天候にも恵まれて、緑豊かな公園での散策に期待も膨らみました。子どもたちの「これ、何だろう？」という興味が広がるように準備されたアイテムは虫取り網に虫簞、図鑑にダンボールと職員の遊びの“しかけ”も万全です。「あれっ、この穴アリがいっぱい出てくる」と一人が立ち止まれば「何々」「すごい女王アリがいるんじゃない？」と頭を突き合わせて観察が始まります。また、別の子は近くに咲いている黄色い花に興味津々で「ちょっと調べてみる」と図鑑を広げたり「これかな」「でも少し（真ん中に）違う色があるから…」と友達と見比べたりしていました。緑の中にいると時間を忘れて日頃は経験できないことも見聞きができて「リスの声がするね」「本当だ」とたくさんの発見に立ち止まることができました。遠足をきっかけに保育園へ帰ってからまだまだ続く子どもたちの『不思議、発見』をみんなで一緒に楽しんでいきたいと思えます。

今月からクラス懇談会、保育参観、面談がスタートします。お子さまの成長をご家庭と共有しながら保育や子育てに繋げていく機会にしたいと思えます。是非、ご参加をお待ちしております。

クラス懇談会のお知らせ

- 0歳児（ちゅうりっぷ組）
- 5歳児（きりん組）
- 3歳児（りす組）
- 4歳児（うさぎ組）
- 2歳児（ひまわり組）
- 1歳児（たんぼぼ組）
- ・場所 1階ホール



行事予定

定期健康診断（全園児）
避難訓練、身体計測

看護師より

幼児クラスを中心に年間を通して様々な健康教育を行っていますが、年度初めは『自分の体は自分のもの。体はどこも全部大事。中でも特別大事なところがあるよ』とプライベートパーツの話をしています。プライベートパーツとは、パンツの中と胸と口のことで、見ることも触ることも自分だけでみんなの前では触らない。もし誰かに見せてと言われたらダメ！と断り逃げて、そのことを身近な大人に話そうと伝えています。

ご家庭でこのような話をされることはございますか？保育園児にはまだ早いと思われるかもしれませんが、大切なことは小さい時から繰り返し伝えていき、今は意味がよくわからなくても成長過程の中でいつか正しく理解できる日が来ると思えます。プライベートパーツの話を皮切りに、健康で過ごすための方法（手洗い、うがい、歯磨き、早起き早寝、朝ご飯、熱中症予防等）や、体の仕組み（消化、脳、心臓等）、心の話も取り入れながら、自分の体が大切であること、自分以外の人の体も大切であることを、楽しくわかりやすく伝えています。



～入園、進級から1か月がたち、子どもたちの様子です～

0歳児・ちゅうりっぷぐみ

保育士に抱っこされながら

周りの景色や人、玩具などを見たり触れたりする経験を積み重ね、穏やかに過ごせる時間が少しずつ増えてきています。

音の出る玩具やクルクル回る玩具にそっと手を伸ばし、音や動きを楽しむ姿が見られます。ふと近くの保育士に視線を送ることもあり、保育士が「クルクルしたね」と共感すると、また手元の玩具に触れて遊びだすのでした。安心できる環境の中で過ごせるよう、子どもたちとの関わりを日々深めていきます。

2歳児・ひまわりぐみ

新しい部屋や新しい保育士、友達と新たな出会いが沢山ありました。

毎日楽しい遊びを一緒に共有して遊んでいく中で少しずつ環境にも慣れてきています。部屋でも井形ブロック

をつなげてみては自分のお気に入りの車をつくり「できた」と嬉しそうです。出来上がった車に動物積み木を乗せると「しゅっぱーつ、しんこーう」と走らせています。ままごとコーナーのキッチンでは、ご飯を作って人形に「はい、どうぞ」と食べさせてあげるなどそれぞれ好きな遊びを楽しんでいます。子どもたちのイメージや発想を汲み取り、共感しながら一緒に楽しんでいます。

4歳児・うさぎぐみ

新しい環境や保育士にも少しずつ慣れ、保育士に甘えたり、できることが増えた喜びを感じたりしながらのびのびと過ごしています。

先日ホールで「いきのこりばんざい」というゲームをみんなでやりました。真ん中にいる保育士にタッチされないように端から端まで移動するゲームです。素早く走り抜ける子どもたちですが出遅れた友達がいると「がんばれー！」と応援する姿もあり、保育士も一緒になって息を切らしながら遊びました。これからも子どもたちと一緒に面白いことや楽しい経験を共有していきたいと思えます。

1歳児・たんぽぽぐみ

「園庭に遊びに行こう」と保育

士が声をかけると嬉しそうに向かいます。準備の時には自分の帽子を被ると、友達

の帽子のマークを見て「ぼうし、わすれてるよ！」と届けるなど、子どもたち同士のやり取りが見られます。園庭では保育士と一緒に探索を楽しむ中で、砂や葉を手にとって触れてみたり、道路に車が通ると「んっ！んっ！（きたよ）」と声を出して知らせたりと、様々なものへ興味を広げています。また他クラスの子どもの姿を見て、「どんなことをして遊んでいるのかな？」と輪の中に混ざってみながら、園庭遊びを楽しんでいます。子どもたちの思いや気づきに共感しながら一緒に遊んでいきます。

3歳児・りすぐみ

嬉しさとドキドキが入り混じった

気持ちで1階の保育室での生活が

スタートしました。自分のリュック

が嬉しく、お部屋の中でも背負って

は「ピクニックに行こう」と遊びにつながる姿もありました。自分の物を持つことで安心感も感じていたようです。園庭では大好きなごっこ遊びに自然物を取り入れながら、桜の下でお花見ごっこやケーキ屋さんごっこを楽しんでいます。遊びだけでなく、食事用の食具が大きくなったことにも「すご〜い！お兄さんになったからだ！」と喜ぶ姿も見られます。今後も初めてのことに「嬉しい」「楽しい」気持ちを感じながら過ごしていきます。

5歳児・きりんぐみ

先日楽しみにしていたポニー教室が雨で中止となってしまいました。「こうなったら、お部屋でポニーに乗ろう」と以前から楽しんでいる光と影を使って遊ぶことにしました。図鑑を見ながらポニーを描き、ハサミで型取ってペープサートを作り、懐中電灯を使ってポニーの影を大きくしようと照らしています。影に乗ることは結局できませんでしたが、試行錯誤する表情が印象的でした。これからも子どもたちと面白いこと探しをしていきます。